

大型化するリビングを快適なシアタールームにする

高輝度 5200lm フル HD プロジェクター、オプトマ EH503 新登場!!

投写距離の異なるレンズの選択により設置エリアが拡大。

株式会社オーエスプラス e（本社：東京、代表：奥村正之）は、DLP 方式のホームユースプロジェクター、オプトマ EH503 を、8 月 18 日(月)より新発売いたします。EH503 は、1920×1200 ピクセルのフルハイビジョン 3D 対応プロジェクターです。ホームシアター向けプロジェクターとしては圧倒的な高輝度 5200lm を誇り、オープンキッチンの採用が進み、ますます大型化するリビングダイニング (LD) の、完全遮光ができない環境においてもクリアな映像を実現し、LD をシアタールームに変身させます。

リビングシアターにおける様々な設置条件を考慮して、オーエスプラス e ではレンズ選択式と言うユニークな販売方式を採用いたしました。天井への設置、壁面や棚への設置など、「短焦点」「標準」「長焦点」の 3 種のレンズをお選びいただく事により、ユーザーの最も理想的な設置位置を実現しようという取り組みです。

EH503 の 3D は、眼鏡に同期信号を送る発信器（エミッター）が不要です。その理由は DLP Link 方式の採用です。左目用と右目用の画像を交互に投影しながら、その画像の間に 3D 信号を挟み、アクティブグラス(3D 眼鏡)と通信するという独創的な方法です。また DLP Link は、クロストークと呼ばれる、左右画像の重なりによるゴーストのような現象もほとんど感じない、明るい映像が得られます。映像を更に繊細に、鮮明に再現する、マルチカラープロセッシングが備わった **Brilliant Color™**テクノロジー、5200lm の明るさ、映画館のデジタルシネマで映像のすばらしさが定評の DLP 方式。そして 3 種のレンズが、快適なリビングシアターを実現します。

商品名：オプトマ フルハイビジョン DLP プロジェクター EH503/EH503S1

希望小売価格：オープン

市場想定価格／本体：35 万円前後（消費税別）

標準レンズ：4 万円前後（消費税別）

短焦点レンズ：12 万円前後（消費税別）

長焦点レンズ：9 万円前後（消費税別）

発売予定日： 2014 年 8 月 18 日(月)出荷開始

ホームページ： <http://www.optoma.jp>

http://jp.os-worldwide.com/os_plus_e/



EH503（標準レンズ装着時）※レンズ別売



選べるレンズ（左から）

短焦点レンズ、標準レンズ、長焦点レンズ

《EH503の主な特長》

- ホームシアタープロジェクターとして圧倒的な高輝度 5200 ルーメン
- フルハイビジョン(1920×1080p)対応 DLP 方式。3D 対応
- Brilliant Color™テクノロジー採用
- フルレンズシフト搭載（水平最大左右各 5%、垂直最大上 60%下 20%）
- インストールの柔軟性を可能にする焦点距離の異なる 3 種のレンズ選択式
- LAN サポート

《EH503の専用レンズの概要》

■短焦点レンズ

型式：BX-DL080 外形寸法：直径 88× 奥行 118mm、質量 0.5kg

F=2.5、f=11.5 mm、固定焦点、投写距離比 0.77:1

■標準レンズ

型式：BX-DL200、外形寸法：直径 88×奥行 130mm（テレ端）、質量 0.5kg

F=2.46～2.56、f=22.8～28.5 mm、1.25 倍マニュアルズーム、投写距離比 1.54～1.93:1

■長焦点レンズ

型式：BX-DL300、外形寸法：直径 88× 奥行 130mm（テレ端）、質量 0.5kg

F=2.5～3.1、f=28.5～42.75 mm、1.5 倍マニュアルズーム、投写距離比 1.93～2.89:1

《優れた 3D 再生を可能にする DLP Link》 EH503S1 には 3D 眼鏡標準装備

■外付けエミッター(発振器)不要

超高速イメージングチップ DLP は、交互に二つの画面（右目用、左目用）を投写します。そして画像のフレームとフレームの間に、アクティブグラスへの追加信号を送り出し、奥行のある 3D 映像を結像します。一般の 3D プロジェクターは、エミッターと言われる眼鏡への発信器が必要ですが、EH503/EH503S1 は外付けエミッターが不要で、セッティングの煩わしさも、エミッターコストも不要になります。

■自由な視聴位置

一般的に 3D に使用される赤外線エミッターは、なるべく画面センターに位置する事が好ましいなど、視聴ポジションに制約があり、また頭を動かす事も同期に影響がある場合があります。EH503/EH503S1 は 3D アクティブグラスへのシャッター切替信号を送出する際に、DLP Link を採用し映像そのものに信号を付加し発信するため、赤外線方式や電波方式と異なり、視聴ポジションの制約を受けることが少なくなります。

■クロストークを感じない滑らかな映像

クロストークとは 3D 映像を見る際に、両目の映像を交互に高速で画面に映し出すため、瞬間的に残像のように二重映像に見えることを言います。フレームの間に信号を送り出す DLP Link 独自の方法は、クロストーク発生を低減させる効果があります。



専用アクティブグラス：ZD302
疲れにくい快適なフィット感（EH503S1 に付属）

《Brilliant Color》

ブリリアント・カラー・テクノロジーは新しい色彩処理アルゴリズム、およびシステム・レベルのカラー信号画質向上処理を使用し、より優れた色彩を提供しながら、さらに高い輝度の画像を実現します。

《EH503の主な仕様》

型式	EH503 / EH503S1 (3D アクティブグラス付き)
希望小売価格(税別)	オープン (本体のみ、市場想定価格：35 万円前後)
本体カラー	マットホワイト
投写方式	単板 DLP™方式
表示素子※ 1	0.65 型 DC3 DMD™パネル (1920×1200)
アスペクト比※2	16 : 9 / 16 : 10
明るさ(輝度)	5200 ルーメン
コントラスト	2000:1
投写レンズ	3 種 (短焦点、標準、長焦点) のレンズ (別売) から選択式
使用ランプ	370W ランプ(ユーザー交換可能)
ランプ寿命	1500 時間 (ブライต์モード) / 3500 時間 (ノーマルモード)
投写距離(16:9)	短焦点レンズ：最短 (0.5m、28 型) ~ 最長 (2.9m、170 型) 標準レンズ：最短 (1.2m、34.2 型) ~ 最長 (8.6m、200 型) 長焦点レンズ：最短 (1.3m、31 型) ~ 最長 (30.1m、470 型)
レンズシフト	マニュアル、水平最大左右各 5%、垂直最大上 60% 下 20% (FHD 時)
キーストン補正	±40%(垂直)
ビデオ対応信号	NTSC、PAL、SECAM、SDTV (480i/576i)、EDTV (480p/576p)、HDTV (720p, 1080i/p)
コンピューター信号	WUXGA、UXGA、SXGA+、SXGA、WXGA、XGA、SVGA、VGA Compression、 VESA standards; PC & Macintosh compatible
入力端子	HDMI ×1、DVI-D ×1、ディスプレイポート ×1、VGA (YPbPr/オーディオ 3.5mm ジャック) ×2、 BNC (RGBHV) ×1、コンポーネント (YPbPr+RCA) ×1、S ビデオ ×1、コンポジット ×1、 RCA オーディオ ×1
出力端子	VGA (YPbPr/オーディオ 3.5mm ジャック) ×1、3D シンクロ ×1、USB 電源 (1.5W) ×1、 トリガー (12V) ×1、
コントロール端子	RS-232C ×1、RJ45 ×1、有線リモコン ×1、USB ポート (メーカーメンテナンス用) ×1
スピーカー	3W ×2 (ステレオ)
騒音値	37 dB (ノーマルモード)
電源	AC 100V~240V ; 50/60 Hz
消費電力	480W (ブライต์モード) / 330W (ノーマルモード) /
待機電力	10W (スタンバイモード) / 0.5W 以下 (エコモード)
外形寸法 (突起部含まず)	431 (W) × 182 (H) × 340 (D) mm
製品質量	8.6kg
3D 対応信号	Video: 480i & HDMI 1.4b Blu-ray 3D、Computer: 1280 × 720/1024 × 768/800 × 600
付属品 (EH503、EH503S1 共通)	電源コード、VGA ケーブル、リモートコントローラー、レンズキャップ、単 4 電池 2 本、取扱説明書、 保証書、クイックスタートガイド

※1 DMD/DLPテクノロジーの中核をなす半導体、デジタル・マイクロミラー・デバイス。半導体上に可動する極小のミラーが数100万個以上敷き詰められ、1秒間に数千回というスピードで切り替えられて、ミラーに当たった光を反射して画像を再現する。※2 アスペクト比/画面の横と縦の比率。※DLP™、DMD™、DLPLink はテキサスインスツルメンツ社の登録商標です。SVGA、XGA、WXGA™は IBM corp.の登録商標です。

オプトマ社 Optoma corporation

1992年創業。高品質な光学機器メーカーとして、欧米でOEMをはじめとした大きな実績を上げ、1999年には米TI社が開発したDLPテクノロジーを採用、世界で初めて重量5kgを切るDLPプロジェクターを開発。DLPプロジェクターにおいて、世界トップクラスのシェアを確立。2008年12月発表のPK101は大きな話題を呼び、ポケットプロジェクターという新しい市場を開拓。HDシリーズは、ホームシアター向けとしての映像作りに高い評価を得ている。

株式会社オーエスプラス e http://jp.os-worldwide.com/os_plus_e/

＜お問合せ先＞各地区販売代理店または下記にお問合せください。

株式会社オーエスプラス e コンタクトセンター

東京都足立区綾瀬 3-25-18

TEL.0120-380-495 FAX.0120-380-496 E-mail e-info@os.worldwide.com

※接続できない場合には、次の番号をご利用ください。TEL.03-3629-5211 FAX.03-3629-5214

＜広報お問合せ先・ニュース発信者＞

株式会社オーエス マーケティングチーム 藤枝 昭

東京都足立区綾瀬 3-25-18

TEL.03-3629-5356 FAX.03-5697-0990 E-mail : a.fujieda@os-worldwide.com

株式会社オーエスプラス e 会社概要

名称：株式会社オーエスプラス e

本社：東京都足立区綾瀬 3-25-18 http://jp.os-worldwide.com/os_plus_e/

創業：2000年10月

資本金：1000万円

代表者：代表取締役 奥村正之

事業内容：

2000年10月12日創業以来、日本市場に「家庭で映画を」と言う、ホームシアター文化を提案・構築。社名変更を機に、ホームシアターに留まらず、更に映像文化に関する幅広い取り組みを推進し、業績拡大を目指す。オーエスグループの中でも、最もエンドユーザーに近い企業として、グループ全体のスローガンである「キモチをカタチに」の実現を目指す。

＜(株)オーエスプラス e 関連企業＞

株式会社オーエス 本社：大阪市西成区 <http://jp.os-worldwide.com/>

株式会社オーエスエム 本社：兵庫県宍粟市 <http://jp.os-worldwide.com/osm/>

株式会社オーエス沖縄黒板 本社：沖縄県中頭郡 <http://jp.os-worldwide.com/osb/>

株式会社次世代商品開発研究所 本社：大阪市西成区 <http://jp.os-worldwide.com/njmc/>

OSI CO., LTD. (Hong Kong) <http://hk.os-worldwide.com/>

喜摩租賃(北京)有限公司：中華人民共和国 <http://www.cima-net.cn/>

＜日本総販売代理店＞

OPTOMA 社(台湾)／世界初のポケットプロジェクターを発表したDLPプロジェクターメーカー

Vogel's 社 (オランダ)／フラットディスプレイなどのスタイリッシュハンガーメーカー

SCREEN RESEARCH (イタリア)／THX、ISF公認のサウンドスクリーンメーカー

AV Stumpfl (オーストラリア)／画像処理技術で世界的に定評あるメーカー

EASTONE 社(日本)／国産唯一のTHX認定スクリーン、ecoスクリーンを開発する国内メーカー